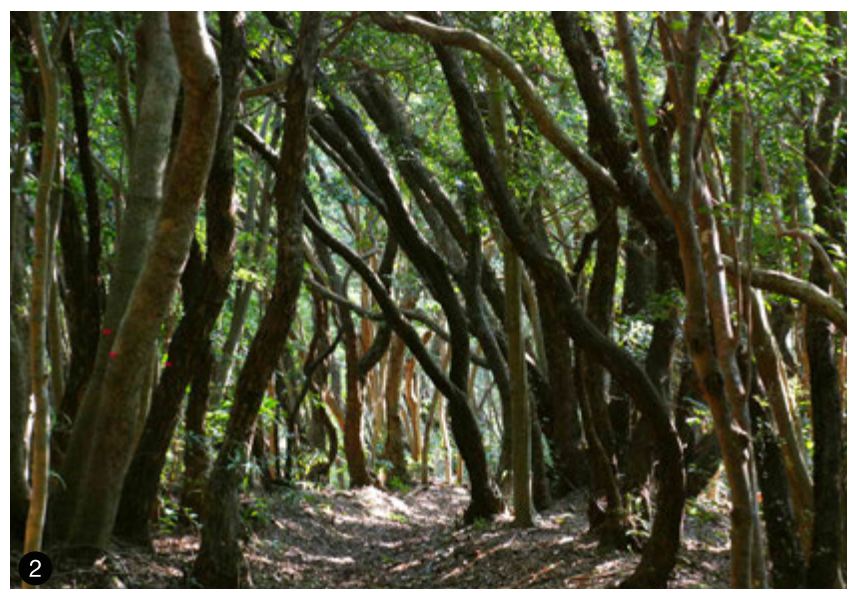


つるばやま 弦場山ウバメガシ 林木遺伝資源保存林

当保護林はウバメガシの保護林です。
ウバメガシは、潮風の影響を受ける海岸地帯に多く分布し、その上限は海拔800m付近とされています。
また、材が非常に固く、備長炭の材料として重宝されます。



①保護林の全景。ダークグリーンに見える箇所が保護林です。②林内の様子。樹齢約130年のウバメガシの大木が林立しています。平成21年に実施した調査では、ウバメガシが林全体の92%約12,000本が生育していると推定され、樹高は最大18mの木が確認されています。また、そのほかにヤマモモやカゴノキ、タイムンタチバナなどの暖温帯の木がわずかに混じります。③ウバメガシの葉。葉は光沢があり厚く硬いのが特徴です。④備長炭造りの様子(室戸市で撮影)。ウバメガシは木の密度が高いため備長炭の原料としても重宝されます。⑤保護林周辺の様子。弦場の鼻と呼ばれる岬周辺には保護林以外の箇所にも多くのウバメガシが自生しています。黒潮が流れるコバルトブルーの湾内と、ウバメガシ林とのコントラストがとても美しいです。

